



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: CELEBRATE ROTARY - 100 YEARS

「ロータリーを祝おうー100年の歩み」

2004～2005年度・国際ロータリーテーマ/グレンEエステス・シニア会長

「ひとが基本ですーみな輪になり手をつなごう」

2004～2005年度・東京新南ロータリークラブテーマ/入沢頼二会長

【本日の例会】2004年11月5日 第862回例会

◎次年度(2005～2006年度)理事・役員候補者指名

◎卓話

「ウィーン音楽事情」

ウィーン・メロス音楽研究所 代表 野村 三郎氏
(紹介者 清水会員)

【前回報告】10月22日 第861回例会

◎卓話

「これから注目したい旅行先」

(株)パノラマインターナショナル取締役副社長
金子 良三氏
(紹介者 清水会員)



◎幹事報告

11月定例理事会を11月5日(金)例会後、開催致します。

◎親睦活動委員会報告(石井委員長)

11月火曜会は11月2日(火) 18:00～20:00全日空ホテル36F
マンハッタンラウンジで開催致します。今回は馬場さんと
田村昭二さんに「私の仕事、趣味そして家庭」のテーマでお
話して頂きます。皆様のご参加をお待ちしております。

◎慶事披露 お誕生日祝/福島賢哉君(10月23日)、
早川清隆君(10月25日)、荒木昭文君(10月26日)

◎出席報告

会員58名/出席34名・欠席24名(出席規定免除者7名)
ビジター 2名



10月22日/6件 12,000円
2004～2005年 累計 444,000円
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

清水實/金子様、本日の卓話宜しくお願ひします。青野信
次/渡部一元さん、すばらしい贈物ありがとうございます。
庄司泰典/村山さん、先週は代役をして頂きありが
うございました。西澤民夫/台風23号の夜、飲み過ぎて電
車を乗り過ごしました。岩上義明/明日はゴルフコン
ペです。頑張ります。尾上寛/明日のゴルフ、吉岡さん、椎名
さん、宜しくお願ひします。

—— 11月例会卓話、行事予定 ——

11月は ロータリー財団 月間 です

- 1日(月) 地区山の手AグループIM
ヒルトン東京 4F 菊の間 13:00～17:45
- 2日(火) 火曜会
東京全日空ホテル36Fマンハッタンラウンジ 18:00～20:00
- 5日(金) 第862回例会
次年度(2005～2006年度)理事・役員候補者指名
卓話「ウィーン音楽事情」
ウィーン・メロス音楽研究所 代表 野村 三郎氏
(紹介者 清水会員)
- 11月定例理事会
東京全日空ホテル1F かげろう 例会後13:40～15:00
- 12日(金) 第863回例会
卓話「ロータリー財団寄付について」
当クラブ会員、地区R財団寄付金委員長 馬場 一廣 君
- 19日(金) 第864回例会
第1回クラブフォーラム 例会後 13:10～14:30
「四大奉仕委員会活動の活性化」
- 22日(月) 地区会長・幹事会
ホテルパシフィック東京 1F 万葉 15:00～19:30
- 24日(水) 04年度バギオ基金研究会セミナー
シティクラブ オブ 東京 15:00～17:00
- 26日(金) 第865回例会
ロータリー情報セミナー
ロータリー情報委員長 渡部 一元 君
" 委員 山川 政樹 君
- 30日(火) 地区千代田グループ第2回会長・幹事会
法曹会館 3F 富士の間 14:00～17:00

【次週予告】11月12日 第863回例会

◎卓話予定

「ロータリー財団寄付について」

当クラブ会員 馬場 一廣 君
地区ロータリー財団寄付金委員長

私の職業

私の職業分類は総合経営診断です。

具体的には、日本S&T株式会社という会社の社長をやっています。この会社はいわゆる経営コンサルタント会社です。最大のクライアントは独立行政法人中小企業基盤整備機構という政府の中小企業・ベンチャー支援機関です。私はそこで「中小企業・ベンチャー総合支援センター（通称ナショナルセンター）」の本部統括プロジェクトマネージャーという長い名前の役職に就いて、ウィークデイの大半をここで過ごしています。

当ナショナルセンターは中小企業・ベンチャー企業の経営上の課題解決を熟練した民間人の経営コンサルタント（約1,000人位）の方々の経験と知恵を活用し、ほとんどお金の絡まない、いわゆるソフト支援を行っています。業務内容は経営相談（無料）、セミナー（無料）、専門家派遣（有料—といっても大変安い）の3種類に大別されます。

当センターは国が準備したバーチャルなシリコンバレーのようなものだとは思っています。高い志に基づく成長意欲、自己改革意欲に燃える中小企業・ベンチャーの方々に対して、高度な公的、私的支援ツール、ノウハウを集め、一種の楽市楽座のような場を現出させ、自由な雰囲気のもと、21世紀を支える企業群を支援していくことが理想と考え、このように運営すべく努力しているところです。

しかし、単なる楽市楽座では、弱肉強食の世界になる可能性もあります。そこで国の機関として、当センターの持っている中立性（ジャッジ性）から、ローマの護民官的な役割も大事であると考えています。

一方、当センターの目利き性、ボーダーレス性を有しているということについては、以下の事例を見ても確実です。それは今年の2月に群馬県に本社のある会社が、多くの民間支援機関が逡巡している中、当ナショナルセンターの強力な支援の下、名古屋証券取引所新興市場であるセントレックスから株式公開を成功させ、一時は時価総額が1,300億円にまで達し、現在も順調に業績を伸張させているのを見るとはつきり理解できます。

当センターに来られる人たちの多くは、資金調達、販路確保が主要命題です。アドバイス中心のセンターである以上、魚を取る網の作り方を教えてあげるのが主要目的です。その日限りの糧で後に残らない一時的な貸付金、助成金、投資等のツールは持たないほうが支援側も、より真剣な支援ができるかと私は考えているのです。

そうはいっても、資金調達、販路確保のツールを充実することが当センターのアドバイスをより有効にワークさせるものと確信しています。このためには、VC、エンジェル等の直接金融、銀行等の間接金融マッチング、事業会社とのマッチング等の出口支援も当ナショナルセンターの重要課題の一つとして捕らえ、今後、今迄以上に各種の出口整備を図っていくと考えています。

親睦ゴルフ会報告

親睦活動委員会主催の、新南RC、麻布RCとの初めての合同「親睦ゴルフ大会」が10月23日（土）に、千代田カントリークラブにて行われました。当日は素晴らしい天気にも恵まれ、総勢20名が腕を競いました。プレーの方は新ペリア方式の導入で下克上があると思いきや、やはり実力者の方が上位を占め、優勝はトータル78、ネット72の高須会員、準優勝は吉岡さん、3位には麻布RCの横関さんが入りました。高須さんはバーディー・ラッシュでベスグロ賞も獲得、当日の幹事役も務められ、司会者&優勝者スピーチ共々、大忙しでした。女性は紅一点、小原会員の奥様である栄子様が参加され、レディース賞を獲得されました。

プレー後のパーティーでは、入沢、関両会長からのご挨拶の中で、本日の合同ゴルフコンペが開催出来た事は大変喜ばしい限りであり、是非、今後も定期的に開催し、両クラブの益々の親睦を深めようとお話がありました。

尚、当日はやたらと小生にも握手を求める方が多く、「今日は宜しく！」というサインかと思いきや、しっかりと授業料をお納めする結果となり、今後の練習に更なる気合を入れようと決意も新たに致しました。



今回の開催に際し、沢山のご支援や、多額のご寄付を賜った関係者の方々に、改めて感謝申し上げます。（勝山 記）
参加者（敬称略・順不同）：入沢、高須、吉岡、竹本、小原夫妻、田村、開発、岩上、尾上、庄司、椎名、勝山（以上新南RC）
関、横関、平野、熱田、佐々木、大畠、清原（以上麻布RC）

子供基金、新たな約束をもたらす

ロータリーの100周年記念の年度を通じ、グレンEエステス・シニアRI会長は、すべてのロータリアンに対して子供達のためになるようプロジェクトを支援するように奨励しています。

2月会合において、ロータリー財団管理委員会は、子供達のニーズを満たす人道的プロジェクトを支援するための恒久基金内に**子供基金**を創設することを承認しました。

収益の用意が整った後、ロータリークラブ及び地区は個人向け補助金、あるいはマッチング・グランドといった現在のロータリー財団プログラムを通じて子供基金のプロジェクト支援を申請することが出来ます。承認されたプロジェクトは、設置された財団プログラムの方針に適い、子供を支援するものであれば活動の内容および範囲が多用であってもかまいません。

財団管理委員会は、ロータリアンおよびその他の寄付者が恒久基金への寄付を指定する際に、子供基金を魅力ある選択として考慮することが出来ると確信しています。財団は、主に、無条件の大口寄付および遺贈友の会に対する少なくとも米貨1万ドルの誓約を求めることにより、子供基金への寄付の受託を開始しました。

～ 「ロータリーの友」 10月号